
編集後記

本学会誌 34 巻 2 号の編集が無事に終了し、発刊の運びとなりました。本号は教育研修講演 4 編、原著論文 8 編から構成されており、臨床スポーツ医学の現在地を、診療現場と競技現場の双方から捉え直すことのできる充実した内容となっています。

教育研修講演では、脊柱側弯症が身体活動やスポーツ参加に与える影響、心肺運動負荷試験の活用、頭部外傷・脳振盪からの復帰支援、中高生選手を対象とした健診システムの構築など、日常診療のなかで実際に遭遇する課題が幅広く取り上げられています。外来やメディカルチェックの場で、どのように評価し、どう安全な競技参加につなげるかという視点からも、多くの示唆を与えてくれる内容です。

また原著論文では、高校女子生徒における月経周期異常、機能的スパッツ着用の影響、世界水泳選手権における医事運営、ハムストリング肉ばなれの疫学的特徴、ACL 再建術後の主観的パフォーマンス、フリーライド競技における外傷、高校女子野球選手の肩関節機能、腱板修復術後の患者指導など、多様な対象と手法による研究成果が掲載されています。いずれも、障害の予防、適切な治療介入、競技復帰支援、さらには選手教育や大会医療体制の整備にまでつながる、実践性の高い報告といえるでしょう。

とりわけ本号では、成長期アスリートの健康管理、女性アスリートへの配慮、脳振盪や競技特性に応じた外傷対応など、現場で「見逃さないこと」「無理をさせないこと」「安全に次の一歩につなげること」の重要性を再認識させられます。臨床スポーツ医学に求められるのは、単に診断や治療を行うことにとどまらず、選手、指導者、多職種と連携しながら、継続可能で安全なスポーツ参加を支える視点であることを、本号はあらためて示しているように思います。

本号に掲載された知見が、会員の皆様の日々の診療、研究、そしてスポーツ現場での実践に広く活かされ、本学会誌が今後も臨床と研究、多職種連携をつなぐ場としてさらに発展していくことを願っています。

(難波 聡)

日本臨床スポーツ医学会誌 第 34 巻 第 2 号

2026 年 4 月 30 日 発行

編集者 一般社団法人 日本臨床スポーツ医学会 編集委員会
勝川史憲 (委員長)、磯 良崇、鎌田浩史、蒲原一之
高木 博、高澤祐治、武富修治、友利杏奈、鳥居 俊
中嶋耕平、中山晴雄、広瀬統一、藤谷博人、星野祐一
三谷玄弥、山崎哲也、山本利春、吉川貴仁

発行者 一般社団法人 日本臨床スポーツ医学会
〒104-0041 東京都中央区新富 2-4-14
新富田所ビル 4 階
一般社団法人 会議支援センター内
TEL : 03-6222-9874/FAX : 03-6222-9875
E-mail rnspp@rinspo.jp

制作 株式会社 杏林舎